

令和6年7月26日

報道機関各位

青森県危機管理局防災危機管理課長
青森県議会事務局調査課長

米軍人等による事件・事故の再発防止等について

標記の件について、防衛大臣及び外務大臣並びに駐日米国大使、在日米軍司令官及び第35戦闘航空団司令兼米軍三沢基地司令官に対し、別添のとおり要請したのでお知らせします。

報道機関用提供資料	
担当課	危機管理局防災危機管理課
担当者	総務・復興グループ GM 蛭沢 祐一郎
電話番号	直通 017-734-9089 内線 4160
報道監	危機管理局次長 佐藤 広之
担当課	議会事務局調査課
担当者	副参事 成田 伸彦
電話番号	直通 017-734-9797 内線 5121
担当課長	議会事務局調査課長 伊藤 敏文

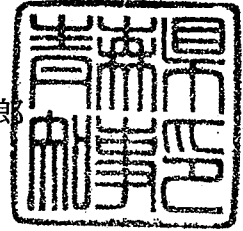


青防第237号
青議第155号
令和6年7月26日

防衛大臣 木原 稔 殿

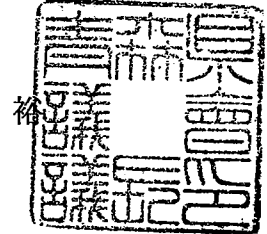
青森県知事

宮下 宗一郎



青森県議会議長

丸井



米軍人等による事件・事故の再発防止等について

令和3年と令和4年に米軍三沢基地所属関係者による性的暴行事件が発生していたことが判明しました。

このような事件は決して許されるものではありません。

また、当該事件について、本県や地元自治体に対する通報が一切ありませんでした。

こうした事態は極めて遺憾であり、また、県民の米軍三沢基地に対する信頼を大きく損なうものです。

ついては、県民の不安解消や民生安定のため、次の措置を主体的に実施することを要請します。

記

- 1 米軍人等による性犯罪等の事件・事故が再発しないよう、主体的に対策を講じること
- 2 日米地位協定第3条に関連する日米合同委員会合意「在日米軍に係る事件・事故発生時における通報手続」に基づき、県及び関係市町村へ確実に通報すること
- 3 県及び関係市町村への通報が確実になされるよう、米国側を含めた関係機関に対して同通報手続を徹底すること

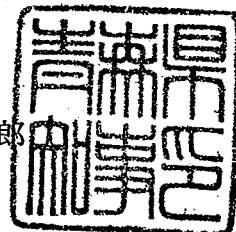
大
写

青防第237号
青議第155号
令和6年7月26日

外務大臣 上川 陽子 殿

青森県知事

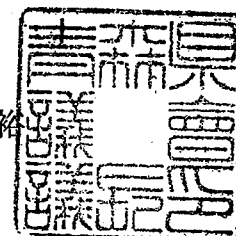
宮下 宗一郎



青森県議会議長

丸井

裕



米軍人等による事件・事故の再発防止等について

令和3年と令和4年に米軍三沢基地所属関係者による性的暴行事件が発生していたことが判明しました。

このような事件は決して許されるものではありません。

また、当該事件について、本県や地元自治体に対する通報が一切ありませんでした。

こうした事態は極めて遺憾であり、また、県民の米軍三沢基地に対する信頼を大きく損なうものです。

については、県民の不安解消や民生安定のため、次の措置を実施することを要請します。

記

- 1 米軍人等による性犯罪等の事件・事故が再発しないよう、米国側に強く申し入れること
- 2 日米地位協定第3条に関連する日米合同委員会合意「在日米軍に係る事件・事故発生時における通報手続」に基づき、県及び関係市町村への通報がなされるよう、関係機関に確実に通報すること
- 3 県及び関係市町村への通報が確実になされるよう、米国側を含めた関係機関に対して同通報手続を徹底すること

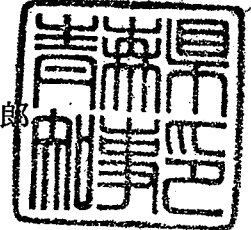
大

写

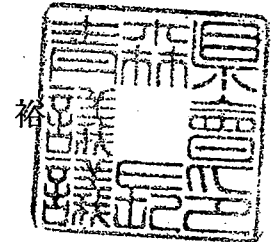
青防第237号
青議第155号
令和6年7月26日

駐日米国大使
ラーム・エマニュエル 殿

青森県知事 宮下 宗一郎



青森県議会議長 丸井 裕



米軍人等による事件・事故の再発防止等について

令和3年と令和4年に米軍三沢基地所属関係者による性的暴行事件が発生していたことが判明しました。

このような事件は決して許されるものではありません。

また、当該事件について、本県や地元自治体に対する通報が一切ありませんでした。

こうした事態は極めて遺憾であり、また、県民の米軍三沢基地に対する信頼を大きく損なうものです。

ついては、県民の不安解消や民生安定のため、次の措置を実施することを要請します。

記

- 1 米軍人等の教育及び綱紀肅正の徹底等、万全の措置を講じること
- 2 日米地位協定第3条に関連する日米合同委員会合意「在日米軍に係る事件・事故発生時における通報手続」に基づき、県及び関係市町村への通報がなされるよう、関係機関に確実に通報すること

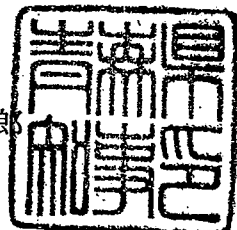
大

写

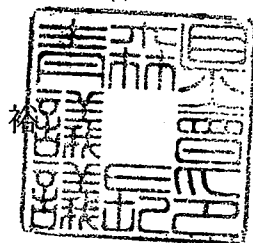
青防第237号
青議第155号
令和6年7月26日

在日米軍司令官
リッキーN. ラップ 殿

青森県知事 宮下 宗一郎



青森県議会議長 丸井 裕



米軍人等による事件・事故の再発防止等について

令和3年と令和4年に米軍三沢基地所属関係者による性的暴行事件が発生していたことが判明しました。

このような事件は決して許されるものではありません。

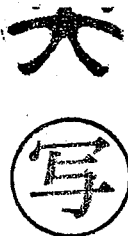
また、当該事件について、本県や地元自治体に対する通報が一切ありませんでした。

こうした事態は極めて遺憾であり、また、県民の米軍三沢基地に対する信頼を大きく損なうものです。

ついては、県民の不安解消や民生安定のため、次の措置を実施することを要請します。

記

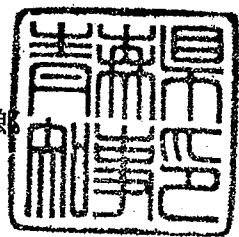
- 1 米軍人等の教育及び綱紀肅正の徹底等、万全の措置を講じること
- 2 日米地位協定第3条に関連する日米合同委員会合意「在日米軍に係る事件・事故発生時における通報手続」に基づき、県及び関係市町村への通報がなされるよう、関係機関に確実に通報すること



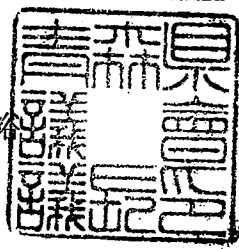
青防第237号
青議第155号
令和6年7月26日

第35戦闘航空団司令官兼米軍三沢基地司令官
ポール T. デイヴィッドソン 殿

青森県知事 宮下 宗一郎



青森県議会議長 丸井 裕



米軍人等による事件・事故の再発防止等について

令和3年と令和4年に米軍三沢基地所属関係者による性的暴行事件が発生していたことが判明しました。

このような事件は決して許されるものではありません。

また、当該事件について、本県や地元自治体に対する通報が一切ありませんでした。

こうした事態は極めて遺憾であり、また、県民の米軍三沢基地に対する信頼を大きく損なうものです。

ついては、県民の不安解消や民生安定のため、次の措置を実施することを要請します。

記

- 1 米軍人等の教育及び綱紀粛正の徹底等、万全の措置を講じること
- 2 日米地位協定第3条に関連する日米合同委員会合意「在日米軍に係る事件・事故発生時における通報手続」に基づき、県及び関係市町村への通報がなされるよう、関係機関に確実に通報すること